

7月定例会(7/23)レポート

和泉副会長挨拶(写真左)



福富会長は下関旧市内7つのラインズクラブのトップの役職にあり、出られないので和泉副会長が代わりに挨拶することとなった。

作戦会議(写真左)



維持管理部会江原部会長の説明。

今回は、10班に分かれ、まず自分の桜の手入れをする班に行き、自分の桜の手入れから始め、

次いで近辺の桜の下刈り、カズラ切りなどの作業をしました。早く終わった班の方は、作業の大変な場所に行っていたら、11時30分に森の家に集合し、皆さんでお弁当を食べました。



班分け(写真左)

本日参加者は55名。10班に分かれる。

さて、自分の桜はどこにある？どの班が自分の桜のところに行くの？

みんな上手くわかる事ができましたか？

機動部隊も出動(写真左)



機械力がないと能率が上がりません。とはいえ、

桜を切らないで！心配でははらします。

精鋭二人(写真左)



今時の若いものはなどと言う人がいるが、この二人をご覧になって考えを改めてください。ボランティアだからこそ参加する。見上げた志ではありませんか。

健康優良樹(写真左)



内日側から深坂自然の森に、入ってくるところにこの木がある。平成12年に植樹されたものであるが、その成長ぶりは目を見張るものがある。手入れをすればこうも違ってくる

ということが良く分かる。この木のオーナーは和泉副会長だった。

参加者の感想 宮崎臣隆

下関工業を卒業して早14年。下関出身の私は「下関」が大好きで、就職も地元の企業にしました。現在32歳。普通はデジタルOA機器に囲まれ、自然とは無縁の環境で仕事をしています。平成15年に結婚し、記念樹としてまず一本植樹し、16年度には友達にも声をかけ、もう一本植樹しました。

「深坂自然の森」は、小学生の時、キャンプなどをして遊び、閑工時代はマラソン大会の会場となったり、私にとって大変思い出深い場所です。そのような土地に自分の桜を植え、オーナーとして維持・管理していくユーモアある計画にわたくしは大賛成です。定例会や維持管理部会では、普段接する事のない方々と作業をしながら、色々なお話や桜の手入れの仕方などを教わり、普段の窮屈なデジタル環境から私を癒してくれます。

私には最愛の家族と最高の両親、そして最高の友がいます。近い将来みんなで、満開の桜の下で花見をするのが夢です。これからも深坂の桜が、すくすく元気に育つようしっかり手入れしていきたいと思います。

参加者の感想 維持管理部会 領地啓

二

7月23日朝より雲がどんよりたちこめていた。自分自身前日より今日は夏越祭準備の草刈及び掃除とさくら友の会草刈が重なってしまい困ったなあと思った。お宮の草刈も作業終了間近に訳を言い深坂の森へ車を飛ばしはせ参じた。

自分の桜のところへ行くと和泉班長以下2名の方が草刈に精を出しておられた。私も指示を受け草刈をしたがなかなか諸兄のようにはいかず、自称『下関深坂桜街道の桜守』も相当修行を積まねばならないなと思いました。体力と根性が要りますね。作業終盤に差し掛かるころ雨が降り出したが皆頑張らずぶぬれになってもなかなかやめないのが感心させられました。11時30分に終了し森の家に戻りお寿司弁当を頂きました。今後ますますこの会が強い絆のもと益々発展していくよう祈ります。来年4月深坂の桜が楽しみです。何かが変わるかも、、、。

ホームページの写真募集

会員の桜、ネームプレートの写真やコメントを募集しています。それらは順次、さくら友の会のホームページに載せていきます。写真はデジカメで撮り、メール添付で応募下さい。

予 定 定例会は常に草取り作業などを目標に集合します。雨天のときも集合を原則とし、天気次第で急遽レクリエーションに変更することもあります。
次会定例会 11月12日(日)予定

投稿

投稿